

# 名古屋観世会 定例公演能

平成29年

11月12日(日)

12時30分開演  
(11時30分開場)

能

恋重荷・梅若玄祥

狂言

宗八・松田高義

能

卷 絹・久田勘鷗

替装束



## 平成29年度のご案内 (年3回の上演になります)

SS席年間特別指定席券	35,000円
S席年間指定席券	25,000円
年間自由席券	15,000円
当日指定席券	8,500円
当日自由席券	6,000円
学生券(自由席)	2,500円

※自由席券は、各回共通、1回に何枚でもご使用になれます。

指定席券を指定日にご利用できなかった場合、年度内ならば何時でも、自由席券としてご使用できます。その時は必ず受付にて当日券に変更してください。

※自由席満席の場合はご容赦ください。

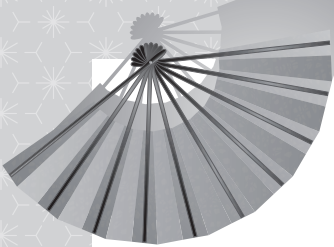
**お知らせ** すでにご購入済みの「年間チケット」を上位席に変更できます。

- S席→SS席に変更の場合 差額 3,750円
- 年間自由席→S席に変更の場合 差額 3,000円
- 年間自由席→SS席に変更の場合 差額 7,000円

お問い合わせ

名古屋観世会事務所(久田勘鷗方)  
〒465-0093 名古屋市名東区一社3-162

TEL(052)734-6192  
FAX(052)705-1585



# 番組

能  
卷

ツレ都ノ男  
シテ巫女

山中雅志  
久田勤鷗

絹  
ワキ臣下 飯富雅介  
替装束

間狂言 臣下ノ従者 野村信朗

後見 松山幸親  
武田志房

地謡 伊藤裕貴  
吉沢 旭  
八神孝充  
本田 勲

狂言  
宗八

宗八 松田高義

主人 井上松次郎  
出家 野村又三郎

後見 伴野俊彦

休憩十五分

仕舞

玉 壺  
柏 崎  
阿 漕  
船 弁  
慶 キリ

吉沢 旭  
祖父江修一  
清沢 一政  
久保信一朗

地謡 伊藤裕貴  
山中雅志  
大西礼久  
本田 勲

能  
恋重荷

ツレ女御  
シテ山科莊司 松山幸親  
梅若玄祥

ワキ臣下 高安勝久

間狂言 臣下ノ従者 野口隆行

後見 祖父江修一  
観世芳伸

地謡 伊藤裕貴  
吉沢 旭  
八神孝充  
山中雅志

大鼓 河村総一郎  
小鼓 後藤孝一郎  
太鼓 加藤洋輝  
笛 鹿取希世

附祝言

(四時頃終了予定)

能楽手帖 権藤芳一より

## ◆巻絹(まきぎぬ)

【あらずじ】時の帝が不思議な夢を御覧になり、千疋の巻絹を諸国から集めて、熊野三社に奉納するようにとの宣旨が下ります。そして勅使が熊野にあつて、国々から巻絹の集まつてくるのを取りまよめています。ところが都からの分だけが未だに到着しません。今やおそろしく待つている勅使は、従者に、都の者が来ればすぐに連絡するように命じます。都からの使者は、はじめての紀伊国(和歌山県)下りであり、また大切な勅命でもあるので、緊張して旅を急いだのですが、熊野に着いて、まず音無天神に参詣し、折からの冬梅の見事さに一首の歌を詠み、神に手向け、その後、勅使の前へ出ます。勅使は、使者の遅参の罪を責めて縛らせます。すると、一人の女が現れ、「その者は昨日音無天神に詣で、和歌を手向けた者であり、神も納受されたのだから、戒めの縄をとくように」といいます。彼女は音無天神の神霊が憑り移った巫女ですが、勅使は、賤しい身で歌など詠める筈はないかと、神慮を疑います。そこで巫女は、その者に上の句を詠ませ、自分が下の句を続けて出来た——「音無にかつ咲きそむる梅の花」「句はざりせば誰か知るべき」という一首を証拠に縄をとかせます。そして和歌の徳、経の威力を説きます。ついで勅使の求めに応じて祝詞をあげ、神楽を舞ううち神がかりの態になり、熊野権現の神徳を語りますが、やがて神は去り、巫女は狂いから覚めます。

## ◆恋重荷(こいのおもひ)

【あらずじ】白河院の庭の菊作りをする山科莊司という老人が、女御の姿を見てから恋慕しているとの噂に、朝臣は、その老人を呼び出し、美しい布で包み「恋重荷」と名付けた荷物を持って、御庭を廻れば、その間に女御が姿を見せようとの事だと伝えます。老人は、喜んで精魂を傾けて荷を持つようとしますが、持ち上がりません。ついに力尽きて、女御に弄ばれたことを恨み憤って自殺します。(中人)従者から、老人の死を聞いた朝臣は、女御そのの由を告げ、こうした者の一念は恐ろしいから、一目見てやるように勧めます。女御はさすがに憐れに思われ、重荷の所へ行き、「恋よ恋、わが中空になすな恋」と悔み、やがて立とうとされますが、磐石に抑えられたように動くことが出来ません。そこへ老人の亡霊が現れ、女御に恨みを述べ、激しく責めますが、やがてその心も和らぎ、千代までも女御の守り神になろうと誓って姿を消します。

## ◆御案内

- 一 都合に依り曲目、出演者に変更があるかも知れませんが予めご承知下さい。
- 一 演能中はお静かに又演能中のお出入りはなるべくご遠慮下さい。
- 一 録音、撮影等はかたくお断り致します。
- 一 携帯電話及び時計のアラーム等はあらかじめ電源をお切り下さい。
- 一 幼児のご入場は勝手乍らお断り致します。
- 一 演能終了後の拍手は、シテが幕し入ります迄御遠慮頂ければ幸甚に存じます。

## 平成30年 名古屋観世会 定例公演予定

2月12日(祝・日) 6月10日(日)  
11月7日(日)

※日程変更の場合があります。  
曲目・出演者は未定。



名古屋能楽堂  
〒460-0001 名古屋市中区三ノ丸一丁目1番1号

TEL.052-231-0088

FAX.052-231-8756  
http://www.bunka758.or.jp/

名古屋観世会